

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 デジタルコレクション推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 図書館 管理調整係 電話番号：058-275-5111(内291)

E-mail：c21803@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 17,159 千円 (前年度予算額： 18,617 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|--------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 18,617 | 18,617 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要求額 | 17,159 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 17,159 |
| 決定額 | | | | | | | | | |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館やサービスの一部休止など、来館による図書館資料の利用が制限された経緯から、非来館型の情報提供へのニーズが高まっている。デジタル技術を活用し、休館等の制約に左右されない資料提供を図るとともに、貴重な郷土資料の保存と利用を両立させることを目的に、図書館が所蔵する郷土資料のデジタル化等を推進する。

(2) 事業内容

ア 図書館資料(郷土資料)のデジタル化

- ・濃尾震災関係など明治期の資料で劣化が著しい資料、簡易な印刷方法で印刷されたため本文消失の危険がある資料など、図書資料の各ページを撮影して画像データを作成して保存し、ウェブサイトで公開する。
- ・16ミリフィルムで製作された県政広報映画は、フィルムの劣化が進んでいるため、DVDに変換して映像情報の保存につとめるとともに関連イベントで上映する。また、上映のみでなくウェブ公開や個人貸出による利活用を可能とするために、過年度デジタル化分とあわせて著作権の権利処理を行う。

イ 既存データベースへのデータ追加

- ・県内自治体史の目次のテキストデータ化

自治体史の目次をテキストデータ化し、Googleのサイト内検索機能を活用し、平成23年度までにキーワード検索を可能としていた。他地域では知られていない寺社の名称や出身人物名なども検索できる。未収録であった平成20年以降に刊行された自治体史のテキストデータ化を令和4年度に実施し、以後は新規発行分の追加を随時検討する(令和5年度は実施予定なし)。

- ・人物文献索引へのデータ追加

県内自治体史（通史編）の本文中に含まれる人名を抽出し、書名とページ番号を人物ごとに集約した「人物文献索引」を昭和55年までに作成し、平成26年度に書誌情報システムでの検索を可能とした。他地域では知られていない現在は無名の人物も検索できる。昭和55年以降に刊行された自治体史は未収録のため、未収録分について人名の抽出と掲載情報の集約を行い、新しい情報を追加する。

(3) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|--------|-----------------|
| 委託料 | 17,159 | データ作成作業、人名抽出作業等 |
| 合計 | 17,159 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 事業主体及びその妥当性

ふるさと教育に用いる教材等の作成や、地域活性化や観光誘客を目的とした資料調査等、地域の歴史や人物に関心が高まっている。デジタル技術を活用して資料のデジタル化や検索機能の強化を行うことにより、情報・資料を入手しやすくなり、県民の調査研究に資することができる。

(2) 各種計画での位置づけ

第3次岐阜県教育ビジョンー基本方針1 - 目標1「ふるさと岐阜」を学ぶふるさと教育の充実 - ②ぎふが世界に誇る自然・歴史・文化・産業等を体験して学び、探究する取組の推進

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

今後5年間に対象資料のデジタル化を推進するとともに、データベースへのデータ追加を完了する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R3) | R3年度 実績 | R4年度 目標 | R5年度 目標 | 終期目標 (R) | 達成率 |
|-----------------|---------------|------------|------------|------------|----------------|-----|
| | | | | | | |
| ①新規資料のデジタル化点数 | 0点 | | 500点 | 500点 | (R8) 2,500点 | |
| ②新規資料の目次データ作成冊数 | 0冊 | | 100冊 | | (R4) 100冊 | |
| ③新規資料の人物抽出冊数 | 0冊 | | 50冊 | 50冊 | (R8) 200冊 | |

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------|--|
| 令和2年度 | <p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p> |
| 令和3年度 | <p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p> |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない | |
| (評価) 3 | コロナ禍により、非来館型サービスやウェブを活用した情報提供へのニーズが増加していると認識している。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない | |
| (評価) | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている | |
| (評価) | |

(今後の課題)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 図書館を含む県の各所属が作成したデジタル情報の一元化・集約化による検索性の向上。 |
|--|

(次年度の方向性)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 計画的にデジタル化、データ追加を推進し、情報源の充実を図る。 |
|---|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|----------------------------|-------|
| 組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 | |
| 組み合わせる理由 や期待する効果 など | 【〇〇課】 |